

こんしゅう したが  
今週のことば「従う」

せいしょ ふくいんしょ  
《聖書》ルカによる福音書 9:51-82

したが  
イエスに従う

きつね あな そら とり  
イエスが「狐には穴があり、空の鳥に  
す ひと こ まくら ところ  
は巢がある。だが、人の子には枕する所  
もない」、「わたしに従いなさい」と言  
ったのはどういう意味なのでしょう。

わたし かみ しん い  
「私は神を信じます」と言っても、た  
かみ なに かみ なに  
だ神に何かしてもらったり、神から何か  
ことを きたい  
をもらったりする事だけを期待していた  
じぶん どりょく  
のではいけないのです。自分も努力して、  
こと したが  
できるだけの事をしてイエスに従うつも  
きたい おわ  
りでなければ、期待はずれに終わってしま  
います。

かみ しん なに ごり やく  
神を信じれば何か御利益にあずかれる  
ひと かんが ひと しゅうきょう しん  
と人は考えがちです。人が宗教を信じる  
どうき ひと こま とき ねが  
動機の一つには、困った時に願いごとを  
したら、たまたまかなえられたからとい  
したが  
うことがあります。でも、イエスに従う

かんが す  
のであれば、そうした考えは捨てないと  
いけません。

せい かつ ふ かえ  
生活を振り返る

まいにち せいかつ なか すこ じぶん  
毎日の生活の中で、少しでも自分で  
こと さが じっこう どりょく  
きる事を探し、実行できるよう努力して  
こと たいせつ  
いく事が大切です。そのためには、いつ  
じぶん せいかつ ふ かえ  
も自分たちの生活を振り返り、このまま  
せいかつ つづ じぶん  
の生活を続けてもよいのか、自分たちの  
まわ こと み はんたん ひつよう  
回りの事をよく見て、判断する必要があ  
るのです。毎日の生活のことはほってお  
い と ひつよう  
けとイエスが言ったと取る必要はありま  
じぶん なに ゆうせん こうどう  
せん。自分が何を優先して行動すべきか  
かんが もと  
を考えるように、イエスは求めたのです。  
どりょく なに  
努力もしないで、ただ何かしてもら  
こと きたい  
事だけを期待していたのでは、イエスの  
でし  
弟子としてふさわしくないのです。イエ  
したが でし かくこ  
スに従うためには、弟子としての覚悟が  
ひつよう  
必要なのです。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの  
年間第13主日C年(滝野)